

北海道駒ヶ岳

1 概況

地震活動、噴煙活動は静穏に経過しました。長期的に見ると地殻変動にはわずかな伸びの傾向が認められます。

2 噴煙活動の状況

昭和 4 年火口から勢いの弱い噴煙が時折認められました（火口上最大 100m 程度）。噴煙が観測されたのは一時的で、風が弱く湿度が高い条件であったことから気象の影響と推定されます。

3 地震活動の状況

A 点で基準に達する地震はありませんでした。山頂臨時点で観測されるごく微小な地震も少ない状態で推移しました。

月別地震・微動回数（A 点）

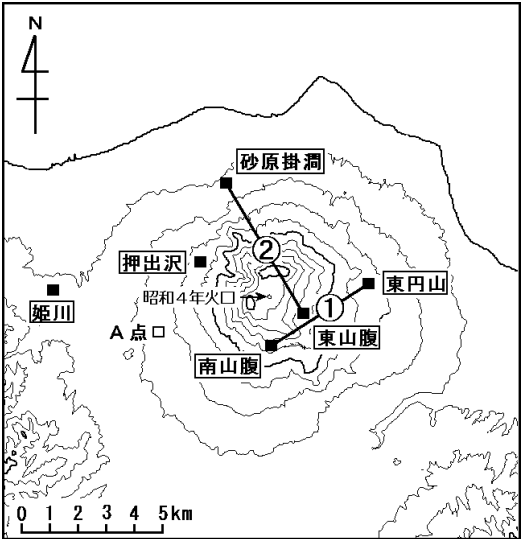
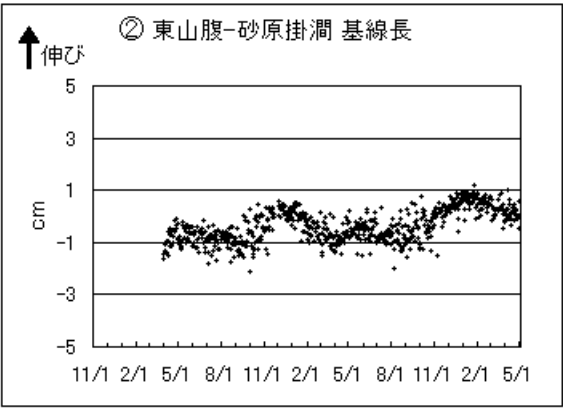
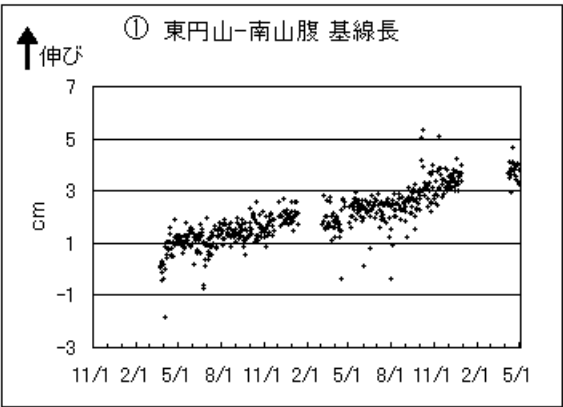
2002～2003 年	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
地震回数	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	1	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

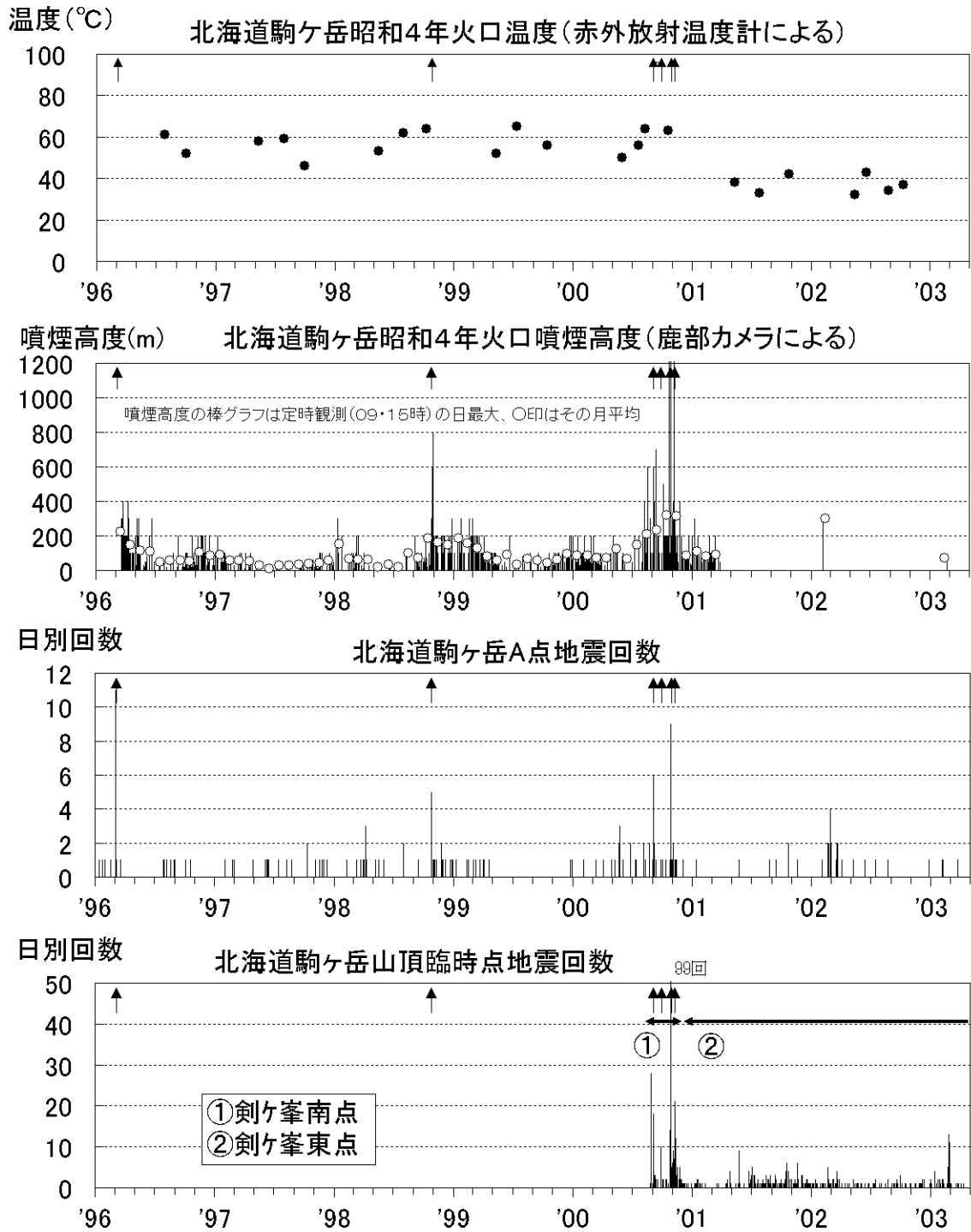
G P S 観測で長期的に見ると基線長に伸びの傾向が認められますが、変動量はごく小さいため、季節変動も考慮しつつ今後の監視を続けていきます。

5 上空からの観測結果

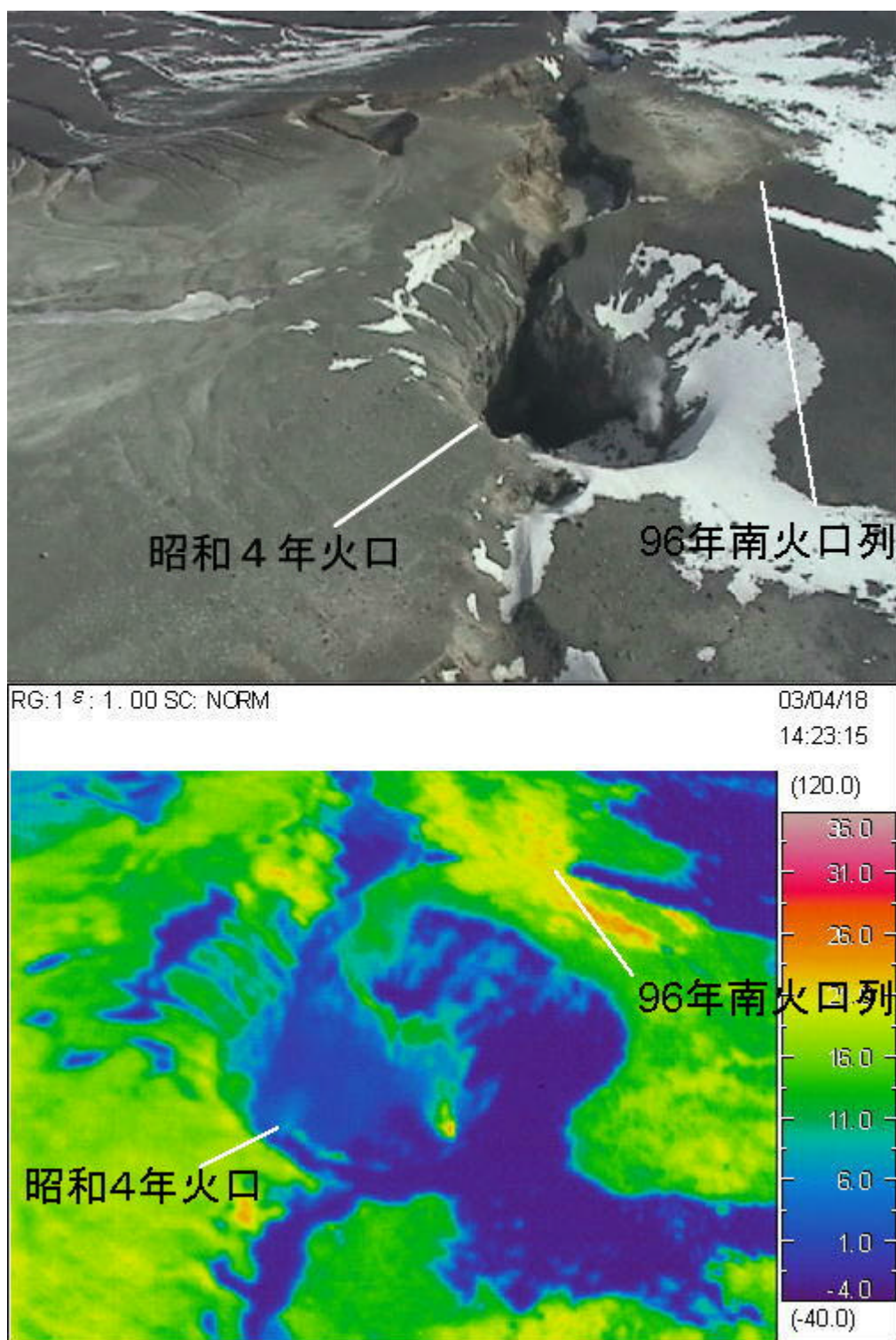
4 月 18 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、昭和 4 年火口、96 年南火口列などで弱い噴気が認められました、噴気活動は非常に弱い状態が続いています。赤外線映像観測でも、これまでの地熱分布が広がるような変化は認められませんでした。



北海道駒ヶ岳基線長変化（2000 年 11 月 1 日～2003 年 4 月 30 日）



北海道駒ヶ岳火山活動経過図（日別、1996年1月1日～2003年4月30日）↑印は噴火



北西側上空から見た昭和4年火口の赤外熱映像

（2003年4月18日14時23分、天気晴れ：北海道開発局のヘリコプターから撮影）

昭和4年火口内西側に見られる弱い噴気に対応して小さな高温域が認められます。

96年南火口列周辺などに広がる黄色～オレンジ色の領域は日射の影響によるもので、実際の地熱域は見えていません。